

新みかわ

発行
随時

NO一九二号 2016年1月号
日本共産党三川町委員会

☎(六六)三七五五

明けまして
おめでと〜うございませす。

日本共産党三川町委員会

迎春



昨年は地方選挙が続きましたが、宮城県議選での倍増をはじめ、前進、変化が感じられました。戦争法廃止めざす国民連合政府の提案や原発再稼働やTPPなど安倍暴走政治を許さないという訴えが多くくの有権者の心に届いたのではないのでしょうか。

今年は大震災と原発事故から五年、震災をメモリアルにしたり、原発事故が終わったことにしようとする政府を許さず被災者が主役の復興へ、力を合わせましよう。
夏の参議院選挙はいわぶち友さんを必ず国会へ、そして全国の勝利、躍進で安倍自公政権を終わらせましよう。
一緒に頑張りませす。

衆議院議員 高橋千鶴子



戦争法を廃止する国会連合政府を実現する年に！そんな思いで新年を迎えませす。昨年はいつせいで地方選挙で青森、秋田、山形の前進、続く岩手、宮城、福島と被災地の大きな躍進。安倍政権の暴走政治ストップ、被災地の復興をという県民の皆さんの意思を示し、国民の皆さんとの共同の広がりを示しませす。

この流れを発展させ、今年も参議院選挙で、いわぶち友さんを必ず国会に送り出し、全国比例で八人全員当選、選挙区での勝利を勝ち取りませす！

TPPからの撤退、被災地、福島切り捨てを許さず、東北の心を国政に！私も全力尽くませす。

参議院議員 紙 智子



議員になり四年目を迎えます。今、町政を脅かす国政の問題が立ちだかっています。とりわけ戦争法の成立は、国民の命とくらしを脅かす最たるものです。

戦後七〇年、平和は守られてきませす。戦争で殺される前に、憲法と民主主義を踏みこじって暴走を続ける安倍政権を止めなければなりません。平和を求める地方の声は、国政を動かす最大の力になります。子どもたちの未来を戦前に戻すわけにはいきませせん。ラスト一年、日本共産党地方議員として平和と民主主義を守るために全力をつくしませす。

三川町議会議員 田中あきら



戦争する国づくりを許さないという空前のたたかいは強行採決後も大きく広がっています。国民のたたかいが政治を動かしていることに胸を熱くしています。いよいよ参議院選挙の年です。

東日本大震災津波と原発事故から五年という節目を迎えませす。被災地の切り捨てと原発再稼働が進められています。同時に国民の声を踏みにじりTPP、消費税増税などを強行しようとする安倍政権。戦争法廃止、安倍政権を倒すために国民連合政府を実現させようではありませんか。そのためにも参議院選挙勝利にむけて全力でがんばりぬきませす。

参議院比例代表候補 いわぶち 友

新しい年を平和とくらし守る躍進の年に！

新春のつどい

日時 1月17日(日)
午前11時30分~

場所 押切上町公民館

会費 500円(懇親会費)

主催 日本共産党三川町後援会

田中あきひろ町議の十二月議会報告

三川町定例町議会が12月8日から開催され、総額1億339万余の補正予算が全会一致で可決され、27年度予算総額は43億9117万円となりました。補正予算の主なもの、歳入としてふるさと応援寄付金8000万円、その中からふるさと基金として3500万円が積立られました。

歳出では子育て支援事業として、出産祝い金第二子加算400万円が補正となりました。条例審議では、町議会の議員その他非常勤職員の公務災害補償に関する条例、出産祝い金条例の改正で第二子に20万円増額で30万円とする二つの条例は全員一致で可決しました。

三川町個人番号の利用及び特定個人情報提供に関する条例制定と三川町税条例の一部改正する条例に対しては、田中議員はマイナンバー制度は国民の願いから生まれたものでなく、国民の所得・資産を厳格につかみ徴税・社会保険料の強化などを効率よく実施・管理したい政府とマイナンバーをビジネスチャンスにしたい大企業要求から出発したもので、このような狙いの制度で国民のプライバシーは保護されないと反対しました。

また、田中議員が紹介議員になった、国民の食糧と健康を守る運動田川地区連絡会提出のTPP請願では、①「大筋合意」の詳細と協定本文を開示し国会・国民の議論を保障すること。②国会決議に違反する「合意」は撤回し、協定への調印・批准は行わないこと(請願要旨)は、賛成6人、反対2人で採択になりました。

田中あきひろ議員の一般質問(要旨)

☆田中 新たに厚生労働省から学童保育への運営(保育)指針が提起されているがその認識は。

☆町長 集団の中で子どもに保障すべき遊びや生活の環境・運営の水準を明確にし、運営主体の安定性と継続性の確保を図るものです。

☆田中 運営方針を位置づけるの運用は。

☆町長 この運営指針は、学童保育を運営する運営主体の多様性ひまえたものであり、条例に定める「最低基準」としてではなく、運営主体(みかわ学童運営協議会)を望ましい方向、「全国的な標準仕様」に導くことを明らかにしていることから本町に

おいても運営指針に基づき学童保育所の運営主体を支援する。田中議員は、そのほか、老人福祉相談員制度の確立についてと27町内会で認知予防サロンづくりなどについて質問しました。

2016年度町政執行に当たっての要望

書提出

日本共産党三川町委員会は、12月22日、町長に対して、

- ①政治姿勢について
- 11項目、②総務・企画行政について25項目、③福祉・医療・介護・国保行政について12項目、④産業行政について5項目、⑤教育行政について6項目、⑥建設環境行政について10項目の合わせて69項目についての要望書を手渡し懇談しました。



戦争法反対の署名行動展開

三川町に総がかり行動実行委員会結成!

憲法違反と言われる戦争法の廃止を求めて、学者、弁護士、学生、ママの会など全国各地で運動がひろがっています。「大切な人を戦場に行かせない」「誰の子どもも殺させない」の思いで、三川からも声をあげようと十二月十二日に三川総がかり行動実行委員会が結成され、運動を進めていくことを確認して署名運動に取り組んでいます。皆さんのご協力をお願いします

『沖縄の共闘「腹六分」に学び、吉永小百合さんのようにしなやかにねばり強く』

☆十二月十二日の「戦争やんだ置賜集会」に参加した町民の方の報告に、沖縄の選挙共闘の教訓は互いに「腹六分で譲り合った」ことが語られました。安倍政権の「暴走政治」戦争法阻止の為に野党統一候補つくる時の教訓にしたいと思います。☆「護憲を語る」宮沢喜一から吉永小百合までという本が今年の春出版されましたがこの十二月「吉永小百合の祈り」が新日本出版社から発行され、十二月十二日届くとすべし読了。「原爆と原発は廃絶すべきです。しっかりと粘り強く続けたいと思います」と七〇才の彼女の姿勢に学びたいものです。

(自称サユリスト・佐藤政弥)